

経常黒字41%増

4月1.8兆円 原油安・訪日消費で

財務省が8日発表した4月の国際収支統計（速報）によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支は1兆8785億円の黒字だった。黒字額は前年同月に比べ41.7%増え、4月としては2007

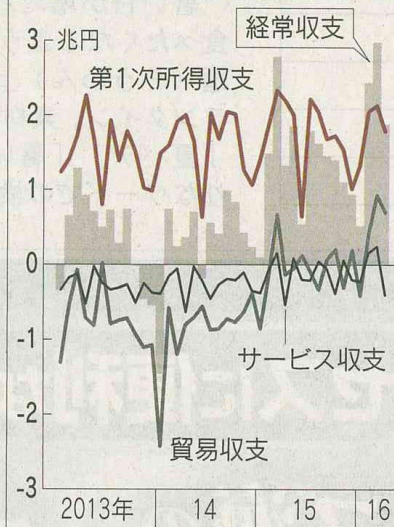
年以来、9年ぶりの高水準。原油安で輸入が減り、貿易収支が前年の赤字から黒字に転換した。訪日外国人の増加も寄与した。（関連表3面に）

経常黒字は1年10カ月続いている。円高で外貨建て収益の円換算額が目減りしたが、ほかの項目で補った。熊本地震に伴い自動車産業の輸出が減ったが「全体としては大きな影響は出ていない」（財務省）。

サービス収支は4012億円の赤字。赤字額は前年同月に比べ24.5%減った。訪日客の国内消費が増え、旅行収支は1559億円の黒字。黒字額は比較できる1996年以降で最大だった。

貿易収支は6971億円の赤字に転換した。前年は1320億円の赤字

経常黒字は1年10カ月続いている



だった。原油価格の下落で輸入額は23.1%減の4兆9059億円。輸出額も10.4%減の5兆6030億円となったが、輸入額の減少幅が大きく収支は改善した。海外の企業から受け取る配当などの第1次所得収支は1兆7805億円の黒字。為替が円高になり黒字額は4136億円減った。